

ラクトヒロックスの具体的使用事例 K0-1

作物	宮重大根
効果	① 前作の残渣がきれいに分解された ② 大根が真っすぐ伸び、姿・色・艶が良くなった ③ 変形した大根が殆ど発生せず歩留まりが良くなった

福井市の島田さんは6年前からたくあん用の「宮重大根」を栽培している。昨年までは、前作の残渣の処理が十分にできず困っていた。また、変形したダイコンがかなり発生して歩留まりが悪かった。

今年は、大根を播種する前に、栽培面積6反の内3反だけ、ラクトヒロックスを1反当たり600gを硫酸に混ぜて散布し、深耕ロータリーで耕した。その約20日後、普通のロータリーで耕してから播種した。

その結果、前作の残渣はきれいに分解された。またラクトヒロックスを使用しなかった場所のダイコンは従来通り曲がった物や変形した物がかなり発生したが、ラクトヒロックスを使用した場所のダイコンは、ほとんどが真っすぐで変形もなく色艶も良い物になり、歩留まりが非常に高くなり、大きな差が出た。

収穫した宮重大根は2週間ほど干して出荷し、県内のJA直売所や坂井市三国町の道の駅で販売されている。

島田さんは「試行錯誤を繰り返し、今年は過去最高の出来。来年は全部の畑でラクトヒロックスを使用したい。」と話していた。

<取材 2020年12月18日>



写真は2020年12月6日付けの福井新聞より